

第4回 乳幼児の世界

八王子保育研究会 1988年

くう ねる あそぶ

プロローグ

開催にあたって

昨今の、育児情報過多の時代に、真の乳幼児保育・教育は何であろうか？と思考し真摯に学習し研鑽していこうと、昭和60年に「八王子保育研究会」を発足し、はや3年がすぎました。メンバーも当初の9名から11名へとふえ、その歳月の流れのなかで、私達は様々な活動を行ない、多くのことを学びました。その間に、たくさんの方々から、暖かい励ましのお言葉やご指導をいただき、感謝しております。

今回、八王子保育研究会第7回自主事業として、八王子駅ビル市民ホールにおいて

第4回 乳幼児の世界 展・・・くう ねる あそぶ。・・・

をタイトルに、保育展を開催することになりました。乳幼児の世界 展は、児童に対して関心と愛情のある皆さんと、「乳幼児の世界」を理解し、把握し、「乳幼児の世界」を、より良い方向に創造して行く働きかけを見い出していこうとする保育展です。第1回からテーマを設定し、企画してまいりました。

テーマ：第1回 “より賢い育児をするために”

第2回 “今子供が求めているものは”

第3回 “子供とのふれあいを求めて”

第4回 “くう ねる あそぶ。”

今回のテーマの“くうねるあそぶ。”は、ご存知のように、ある社のコマーシャルコピーですが、子供にとって、「くう」「ねる」「あそぶ」は、生活そのものであり、必要不可欠のものであります。大人になって忘れかけていた、おいしく食べる。健やかに寝る。気持ち良く遊ぶ。この自然な“くうねるあそぶ”。成長しゆく乳幼児が、この“三大栄養素”をどのように日々の生活に、展開しているかを考えてみました。変動する社会にあって、「子供とは...」「保育とは...」を皆様と共に考え学んでいく一助になれば幸甚です。次代を担う子供達の幸せと希望を求めて「八王子促育研究会」はこれからも、地道に歩んでまいりたいと思います。

目 次

『乳幼児の世界』展 開催に寄せて・・・八王子市長 波多野 重雄

第4回『乳幼児の世界』展 開催要項

会場案内図 くう（食） ねる（寝） あそぶ

・ことば ・音楽 ・造形 絵画 ・健康 ・集団

プレイコーナー 現代育児用語ミニ辞典 八王子には、たくさんの保育園があります。

